エンテカビル錠 0.5mg「CMX」の 生物学的同等性試験に関する資料

株式会社ケミックス

### <試験目的>

エンテカビル錠 0.5mg「CMX」と標準製剤の生物学的同等性を検討するため、「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」に従い試験を実施した。

#### <使用製剤>

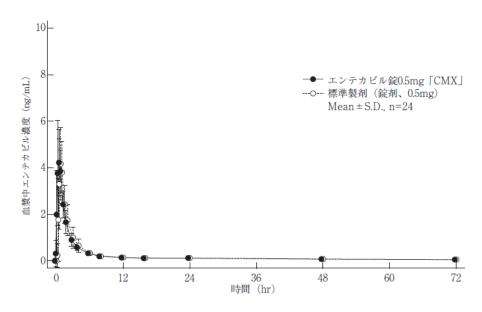
試験製剤:エンテカビル錠 0.5mg「CMX」

標準製剤:バラクルード錠®0.5mg

# <試験方法>

エンテカビル錠 0.5 mg 「CMX」と標準製剤をクロスオーバー法により、それぞれ 1 錠(エンテカビルとして 0.5 mg)を健康成人男子に絶食単回経口投与して、血漿中エンテカビル濃度を測定した。

## <結果>



	判定パラメータ		参考パラメータ	
製剤名	AUC <sub>t</sub> (ng·hr/mL)	C <sub>max</sub> (ng/mL)	$egin{array}{c} T_{max} \ (hr) \end{array}$	T <sub>1/2</sub> (hr)
エンテカビル錠 0.5mg「CMX」	14.8±2.4	5.0±1.3	0.8±0.4	49.0±11.8
標準製剤 (錠剤、0.5mg)	14.9±2.8	4.7±1.1	0.9±0.6	46.6±10.3

 $(Mean \pm S.D., n=24)$ 

血漿中濃度並びに AUC、C<sub>max</sub> 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

### <結論>

得られた薬物動態パラメータ(AUC、 $C_{max}$ )について 90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、 $\log(0.80) \sim \log(1.25)$ の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。